

日本脚本アーカイブズ推進コンソーシアムとは

「放送文化資源」を後世に伝える目的で、2012年に設立されました。
主に放送番組制作に使用した「脚本」を集め、整理し公的機関にて公開する
「脚本アーカイブズ活動」を行っています。
ラジオ放送開始から100年、テレビ放送開始から70年以上。
インターネットが主流となった今、デジタルアーカイブ、イベント、インタビューなどで
その歴史と文化を伝えています。

 脚本アーカイブズ公式チャンネル



脚本データベース(収集した脚本情報の検索)
<http://db.nkac.or.jp/>



デジタル脚本アーカイブズ
<https://www.nkac-da.jp/>



デジタル脚本アーカイブズのコンテンツは、教育機関で使用して頂くことを推奨しております。
授業や学校行事で利用される場合、脚本本文のテキストデータをお届けできますので、
メールにてお問い合わせください。

お問い合わせ

一般社団法人 日本脚本アーカイブズ推進コンソーシアム
〒102-0081 東京都千代田区四番町4-9東越伯鷹ビル5階
Email: nkac@hosakkyo.jp 団体HP: <https://www.nkac.jp/>



本事業は、一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会(SARTRAS)の
共通目的基金の助成を受け実施されています。

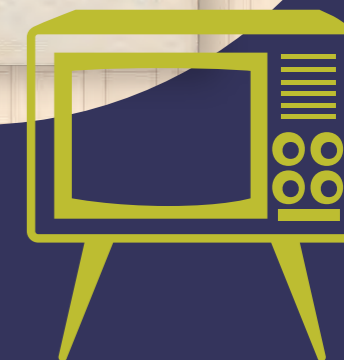
昭和・平成の脚本ドラマ作品を無料で読める!

デジタル脚本アーカイブズ

<https://www.nkac-da.jp/>



脚本は文化の設計図。
脚本を通じて
時代を読み解く
デジタルアーカイブ



デジタル脚本アーカイブズとは

📖 すべてのコンテンツの土台は「脚本」——!

「脚本」は映像・音声作品などの元となる設計図。

ドラマや映画だけでなく、ドキュメンタリーやバラエティ、ラジオ番組、演劇などのコンテンツほぼすべてに「脚本」があります。

テレビ放送が始まった1953年2月1日、当時の放送は生放送でした。

録画技術が誕生した後も、ビデオテープが高額であったため上書きして使用され、1980年以前の映像はほとんど残っていません。

貴重な放送の記録は、脚本でたどるしかありません。

「デジタル脚本アーカイブズ」では、昭和・平成に放送されたドラマの中で、話題となった脚本をピックアップしました。

作品概要はデータベース化して公開しています。

放送当時の文化や世相・話し言葉・人々の生き様を感じて頂けます。

📖 あの名作の技を学べ!

100本以上の脚本をPCやスマートフォンから無料で読めます。

「デジタル脚本アーカイブズ」は、過去の名作から現代の話題作まで、豊富な脚本を自由に閲覧できるデジタルアーカイブ。

脚本家を志すみなさん、まず、たくさんの脚本を読むことから始めてみませんか。

創作の壁を乗り越えるヒントが、ここにあります。

試し読み

岸辺のアルバム

脚本：山田太一



冬の時刻表

脚本：市川森一



イエスの方舟

脚本：池端俊策



公式サイトのご案内

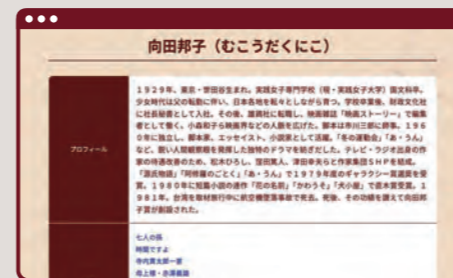
脚本を読む

昭和・平成のドラマ脚本がPCやスマホで読めるほか、実際に使用された脚本画像も、いくつかご覧になれます。



脚本家 データ・ベース

昭和のドラマ350選・平成のドラマ300選に挙げられた作品を執筆した脚本家のプロフィールをご紹介します。研究にも活用できます。



Pick up!

脚本家ごとに作品をピックアップしてご紹介。とりあげる脚本家は順次増やしていきます



脚本検索機能

昭和・平成のドラマ650以上の作品概要をご覧いただけます。キーワードでも検索できます。「昔みたあのドラマはなんだっけ…?」そんな時にご活用ください。



インタビュー

脚本家・池端俊策氏、古沢良太氏のインタビューや、人気番組の放送作家が続々登場。デビューから制作現場の裏側まで、語ってくれます。

